

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

AIを使用した呼吸器外科疾患術後の再発・予後予測に関する研究

1 研究の対象

2009年4月1日から2025年3月31日までの間に、JA 北海道厚生連札幌厚生病院呼吸器外科で呼吸器外科疾患について診断、手術または治療を受けられた方

2 研究目的

呼吸器外科手術を受けられた方の患者情報(年齢、性別、病名など)、手術情報、周術期情報、病理情報について人工知能を用いて解析することで、予後や再発、転移の予測モデルを構築することを目的に行います。特に、今回の研究では主に CT や PET-CT 等の画像と臨床情報を組み合わせて、術前に予測できなかった病理学的リンパ節転移の有無や、術後再発を予測することを目的としています。

3 研究に用いる試料・情報の種類

試料:なし

診療情報:診断名、年齢、性別、身体所見、検査所見(画像、血液検査、生理検査)、手術所見、病理組織学的検査、術後経過等

4 研究組織

研究代表機関:北海道大学附属病院 研究代表者:呼吸器外科 加藤 達哉

参加機関:3 機関(北海道大学病院、札幌南三条病院、札幌厚生病院)

5 情報の提供先・提供方法

上記診療情報、画像情報等は原則として当院で研究・解析を行います。が、例外的に研究代表施設である北海道大学附属病院へ情報保護を厳重に実施したうえで提供する場合があります。

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院 (☎:代表 011-261-5331 内線 4010)

研究責任者、問い合わせ担当者:呼吸器外科 佐々木 明洋